

5月22日 関西支部日帰り旅行会「明石海峡大橋ブリッジツアー／舞子ビラランチ」

昨年から日帰り旅行の一案として挙がっていた、「明石海峡大橋ブリッジツアー」が実現されました。3月の支部総会から参加者を募りましたが、300mもの高さの場所に行くこともあり、最終的には11名の参加となりました。

前夜から雨が降る状況で心配いたしました。参加者の多くは自宅をスタートする時は雨でしたが、予報は晴れでした。舞子駅に集合した時には、西の方から晴れて来ており、天気予報の正確さに感謝するばかりでした。時刻通りの8時40分には全員が揃い、「橋の科学館」にももの5分で到着、開館まで橋の下で写真撮影です。



橋の下で撮影



橋の科学館での説明を受ける

最初に会議室で、ブリッジツアーの注意事項の説明です。席も各人決められた場所になっており、まずは誓約書に署名します。支給された携帯ストラップにドリンクホルダー、メガネホルダーに、受信レシーバーを首からぶら下げたら、ひもがこんがらがっておかしな事になってしまいます。

明石海峡大橋の建設のビデオはなかなか興味深いものでした。ヘリでのパイロットロープ、メインケーブルの堅剛さ、主塔基礎部分であるケーソンの海上移動や特殊コンクリートによる主塔建設など、当時日本の橋梁建設技術を駆使して200年の耐久性を完成したとの解説にて、感心致しました。でもストラップが絡んでます！

1時間半の見学なので、皆さんトイレに駆け込んで準備完了です。まずは、一般見学者が入場できるプロムナード（海上遊歩道）まで移動です。既に海の上ですが、通路は透明ガラスにて囲まれているので、怖くはありません。その後プロムナードを外れて、階段を降りて行くのですが、いきなり眼下にグレーチングを透して、青い海が見えるので高度感に襲われます。一旦ツアー参加者約50名がそこで集合します。いよいよ全長4kmの橋のうち、第一主塔までの約1kmの歩行開始です。眼下に碧い緑が見える、幅3mくらいあるグレーチングの通路を歩いて行きます。グレーチングの通路は淡路島まで続いています。下の海ばかり見ていると酔いそうになります。勾配が3%あり、1kmで30m登ることとなり少々こたえます。20分程真っ直ぐ淡路島に向かって歩いていくと、明石側の主塔に到着しました。



さあ出発です



まずはプロムナード入口へ

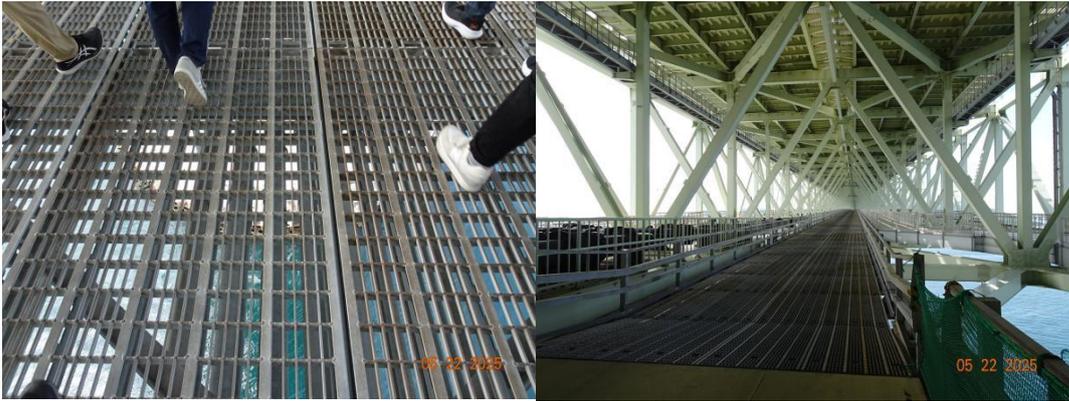


海の上を歩く

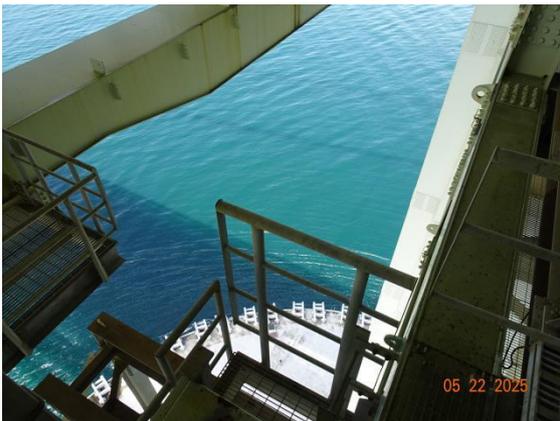


主塔まで約 1km





主塔直下付近で、海上約 50m の高さですが、主塔を昇るエレベーターにて一気に 300m まで上昇します。船のハッチみたいな所から屋外に出ると、絶景の展望でした。快晴も相まての 360 度のパノラマです。直下の高速道路を覗くと、引き込まれそうな高度感です。淡路島側の山間地域と明石側の住宅密集との景色が対照的でした。記念の集合写真も撮っていただき、ほぼ東京タワーと同じ高さからの瀬戸内海の眺望に浸り、心地良い時間を約 15 分間程度楽しむことができました。



主塔基礎



釣り船が見えた





主塔の車両駐車スペース



主塔のエレベーター



船のハッチから



300mの高度



下を走る高速道路



淡路島方面





明石方面



ブリッジツアーは無事 12 時過ぎに終了しました。舞子駅を經由して、舞子ビラへの昼食に向かいました。14 階での昼食は、明石海峡大橋を眺めながらのピザかパスタのボリューム満点のランチセットです。水野支部長の乾杯にて全員がビールにて喉を潤し、前菜サラダにスープ、メインのピザかパスタをいただきました。ほぼお腹一杯になりましたが、尚且つデザートにガトーショコラとコーヒーが付いていて、満足感一杯のスペシャルランチを楽しみました。



舞子ビラでの昼食



舞子ビラ庭園にて



お疲れ様でした！

参加者 木村勤・松村・高・楠原・津田裕・水野・横山・生嶋・吉田・山口・葛野
全般進行 横山 写真提供・文責 葛野（敬称略）